



いまいは今
vol.178

発行 今井町並み保存会
発行日 平成27年4月1日
電話 0744-22-1128
http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp

◇ご意見・ご感想は
今井まちづくりセンターまで

第20回今井町並み散歩

テーマ「引き継ごう 癒しの町並み」

—今井町並み散歩20周年記念—

期間は5月9日(土)～17日(日)です。

第20回今井町並み散歩は今年で20回目を迎えます。

今井の先人たちは町家のかまち等の段差や町並みの歩行で、幼い時から自然と足腰を鍛えてきました。そして老いたときには、人と人との助け合いの中で絆を創り、障害を克服してまいりました。

平成15年・第26回全国町並みゼミからはら・今井大会では「癒し効果からみた町並みと心身の健康について」をテーマに、医師の実験で今井町を散策すると8割の人がストレスを感じたときに出るホルモンの値が下がり、疲労が回復しているという報告がなされました。

また、昨年秋のはならあとイベント「着物でジャズ」では県立医科大学との共催

で着物と今井町のバリアフリーをテーマに開催しました。

今年の今井町並み散歩は常々意識している商都復活と同時に、人と人との助け合いによって生まれる、癒しの町づくりに気づくことも町並みを守る大きな力になると信じて開催します。

《5月9日から始まるイベント》

観光ガイドウォーク(16日・17日は無料)

スタンプウォーク

クイズラリー

語りの書展

古川博写真展

まちかどアート

・まちかどギャラリー

・着物でジャズ(9日のみ)

《5月16日・17日開催イベント》

重文民家・伝統的建造物の内部公開

今井六斎市(17日のみ)

今井町衆市

「今井宗久をとりまく茶人たち」

・茶行列(17日のみ)

・名工の館 大和の茶道員師(17日のみ)

・わかば会呈茶席(17日のみ)

その他イベント多数

現在、実行委員会を重ね開催内容を審議しております。開催をお楽しみに。

今井町歩き勉強会

次のとおり町歩き勉強会を開催します。

テキストを持って実際に今井の中を歩きますので軽装でご参加ください。

《日時》

4月26日(日)午後1時～午後3時

今井まちづくりセンター集合

JASS大阪写真同好会撮影会

3月18日(水)午前11時「華菱」へ20

数名の方が撮影会スタート。若林保存会会長の案内のもと面白いご自分の気に入るアングルを求めてシャッターを押しておられました。初めてお越しの方は町並みの生きている姿にビックリ。「きれいな町並みに変わってきていますね」と仰る方も。旧米谷家で炊き込みごはんの昼食。かまどに懐かしさを感じながら、和やかに美味しく食べていただきました。撮影者の心で写し撮るなかに、先人への思いをめぐらせておられるようでした。「友だちにも声をかけて一緒に」「何度でも撮影に來たいです」など、深い思いをお聴きしました。

防災フェスティバル

3月8日(日)今井防災フェスティバルが行われました。阪神淡路大震災から今年で20年ということもあり、住民の関心も高く、多くの参加がありました。AEDの講習など地域住民同士が助け合う(共助)精神を学ぶ良いイベントになりました。

今井の人々は

原田 和子 (蘇武橋)

短歌三首

ヒヤシンス うす紫の芽を出して

春を思はず陽ざし やはらか

新聞の桜だよりをみる朝は

かの日に訪ひし 山里うかぶ

この春は あまりの雑事の多すぎて

道あゆみつつ 花びらを追ふ



皆さまの投稿をお待ちしています

俳句、短歌、川柳、詩、読書感想文や町で気づいたこと等、どんなことでも結構です。「いまいは今」の誌面づくりに貴方の力をお貸しください。単なる情報だけではなく、みんなが興味を持って気になるものにしていきたいと思っています。お声をかけていただければ取材にもお伺いします。「遠慮なく」「まちづくりセンター」までご連絡下さい。

全国町並みゼミ報告③

第2分科会

地域に根差した産業とまちなみ

(参加者：福井 敏)

第174号、176号と続いてきた全国町並みゼミ鹿島・嬉野大会についての報告の最終回です。

鹿島市生涯学習センターを会場に開催された第2分科会は、「観光ツーリズム」という副題が示しますように、地域資源や地場産業を元にしたまちづくりを行うことによって、住民の生計向上をはかり、それを町並み保存運動へとつなげていくとするものでした。

分科会はコーディネーターによる説明の後、3人のパネリストによる事例報告があり、それに対する質疑応答と進められました。

パネリストの一人である平出淑恵氏(酒サムライコーディネーター)は、消費低迷による廃業が続く酒造会社を救う一つの方法として、海外への販路の拡大をいかに行っているのかを報告されました。海外に広がっているワインビジネスネットワークを日本酒販売に利用しようという考えには感心させられたが、信頼ある大会で品質を保証された銘柄であることを明記して、海外(たとえば米国)の販売店に

おくという意見には、率直に言って違和感を覚えました。例えば日本酒とワインとは同じアルコール飲料であるとはいえず、嗜み方(おいしい飲み方)は違ってくるのであるから、売り手にはそれなりの知識(説明力)が求められ、「とにかく店頭に並べ、ある程度普及すれば販売員も日本酒について知ろうとする」というのは本末転倒しているように思われました。

平出氏の他にも、中純宏氏(五條市・株式会社あすも役員)、樋口久俊氏(鹿島市長)がそれぞれの立場で報告をされましたが内容については紙面の都合上、割愛させていただきます。

最後に分科会での議論中に「観光ツーリズム」について「これまではある特定の人たち(業種)だけが恩恵を受けてきたが、これからは住民にも還元することが大事だ」という話が出たとき、この考えは私自身が保存会での活動を続ける上で、常に意識しなければならぬなと感じたことを付記しておきます。

いまい往来

4月5日(日)午後1時～

市中央公民館分館4階

軽歌劇「ももはなかくさか物語」他
入場無料・主催：中井良香ポーカルフロア